

令和6年度第79回入学式校長式辞

多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、第79回入学式を挙行できることに大きな喜びを感じます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大してから4年以上が経ちました。緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置、十度にわたる感染拡大の波を経験しました。ワクチン接種も広がり、変異種に対する不安はあるものの、ようやく出口が見えてきたように思います。学校の教育活動もこれまでのような制約はなくなり、活発に行えるようになるという期待が膨らんでいます。一方、感染の収束は見えず、毎日多くの感染者が継続して発生している状況です。かつては季節性流行が中心だったインフルエンザも通年で罹患者がでており、はしかの流行なども気になるところです。感染症のリスクに対応した新しい形式を見つけ出し、実践していかななくてはなりません。しかし、悲観してはいけません。人類の歴史は感染症との闘いの歴史でもあります。その都度、先人たちが新しい生活様式を築き、そして今日の世界ができています。私たち一人一人が正しい行動をとることが重要です。保護者の皆様のご協力の下、強い意思と忍耐力で、気を緩めずに新しい時代を切り拓いていきましょう。

さて、駒場高校は、明治35年(1902年)に東京府立第三高等女学校として開校し、昨年創立120周年を迎えた、伝統ある進学校です。昭和25年(1950年)には、保健体育科を併設し、普通科と共に数多の優位な人材を輩出してきています。平成19年(2007年)に、都教育委員会から「進学指導特別推進校」として指定され、昨年度からさらに5年間再度指定されることになりました。その他にも、スポーツ・サイエンス・プロモーション・クラブ指定校、英語教育研究推進校、海外学校間交流推進校の指定も受けるなど、都教育委員会の手厚い支援を受けています。また、今年度から文部科学省のDXハイスクールの指定を受ける予定です。教育のICT化を加速してまいります。さらに、同窓会である松桜会、保健体育科の同好会など、皆さんの先輩に当たる方々からも、力強いご支援をいただいています。新入生の皆さん、皆さんと共に、こうしたすばらしい伝統と実績を誇る駒場高校の一員として、「高きに挑み、深く学ぶ」姿勢をもって、「とりこま」の歴史を積み重ねていきましょう。

さて、学習や部活動の成果は、それに臨む目的意識によって左右されます。学習や部活動のねらいの理解度も、学んだことを応用する力も、そして学力や技能の向上の実感も、目的意識をもっている生徒の方が圧倒的に高いことが証明されています。皆さんには、学ぶことは楽しいという実感がもてるようになってほしいと願っています。学習、学校行事、部活動のいずれにおいても、様々な体験や友人との切磋琢磨を通して、人間として大きく成長していくことを期待します。

本校は、先ほど述べたとおり、英語教育研究推進校でもあることから、少しでも皆さんに英語でお伝えします。

I would like to talk about two things at this starting point in your high school lives.

First, I know that you have experienced hardships due to the surges of COVID-19 infections over the past four years. You must have been forced to give up so many things through your junior high school days that you sometimes felt under severe stress. But don't take only dark views of your life. There may be many more chances for you to leave your marks and to make achievements in this age of uncertainty. Let's create new ways of doing our curricular and extracurricular activities, ways in which it will be possible for us to do them well even under emergency conditions.

Second, it is hard to imagine how our society might change in the next ten years. That's why you all should be lifelong learners. I think we learn because we want to be happier. And to stop learning means to stop becoming happier. That's why you all should be lifelong learners. If you stop learning, you will not be able to adapt yourselves to changes in our society, and you won't be able to make our society better. That's why you all should be lifelong learners.

I have told you two things: first, that we should create new ways of doing our school activities, and, second, that you should become lifelong learners.

In closing my speech, I would like to tell you one more thing. Komaba High School is a school in which each student lives in friendly rivalry with others. It is essential for you to meet excellent students who are better than you in certain fields so as to become more like them. We, teachers and school staff, will all do whatever we can to help out, and we will always be at your side, close to you. Thank you very much.

(英語部分の和訳：高校生活の始まりに当たり、二つお話しします。一つ目。過去4年間コロナ禍により皆さんは辛い経験をしてきました。中学校生活では実に多くのことが制限されて、そのストレスは深刻だったに違いありません。しかし、悲観しないでください。不確実な時代にこそ、自分の足跡を残し、何かを成し遂げるより多くのチャンスがある可能性があります。課内・課外の活動について、緊急の事態にあっても効果を上げられるよう新しい形を創り上げていきましょう。二つ目。今後10年で社会がどのように変化するかを予測するのは困難です。だからこそ、生涯にわたって学び続ける人になってほしいと思います。私たちが勉強するのは幸せになりたいからです。学びを止めてしまうのは、幸せになることを放棄するのと同じです。だからこそ、生涯にわたって学び続ける人になってほしいと思います。学びを止めてしまったら、社会の変化に対応することはできません。社会をより良くすることもできません。だからこそ、生涯にわたって学び続ける人になってほしいと思います。二つのことをお話ししました。一つ目は、教育活動の新しい形を創造すべきだということ、二つ目は、生涯にわたり学び続ける人になるべきだということです。最後に、もう一つお話しします。駒場高校は生徒が互いに切磋琢磨する学校です。いずれかの分野で自分より優れた友人に出会うことが必要不可欠です。なぜなら、自分もそうなりたいと願うからです。先生方は、皆さんの助けになることならどんな支援でも行います。常に皆さんの立場を尊重し、寄り添いたいと思います。)

新入生の皆さん、皆さんがまだ気づいていない自分自身の可能性を発見し、その実現に向かって進めるよう、祈っています。

結びに、授業をはじめとする教育活動の充実・改善には、保護者の皆様のご理解ご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願い申し上げます。また、学校の教育活動に加えて、PTA、松桜会、同好会の活動へのご理解ご協力も併せてお願い申し上げます。ご来賓の皆様におかれましては、駒場高校は今後も有為な人材の育成に努めてまいりたいと思いますので、引き続き、本校へのご指導ご助言をよろしくお願い申し上げます。

令和6年4月9日

東京都立駒場高等学校長 小澤 哲郎